

# 防災・安全

## (犯罪)

平成15年の刑法犯認知件数は9,302件、検挙件数は4,541件、検挙人員は2,390人となっています。

これを前年に比べると、認知件数は1,087件(13.2%) 検挙件数は943件(26.2%) 増加し、検挙人数は319人(15.4%) 増加しています。

## (火災)

平成15年中の火災発生件数は260件、死傷者59人、損害額5億6,397万円となっています。

これを前年に比べると、件数は59件、死傷者は6人減少、損害額は1億2,813万円増加しています。

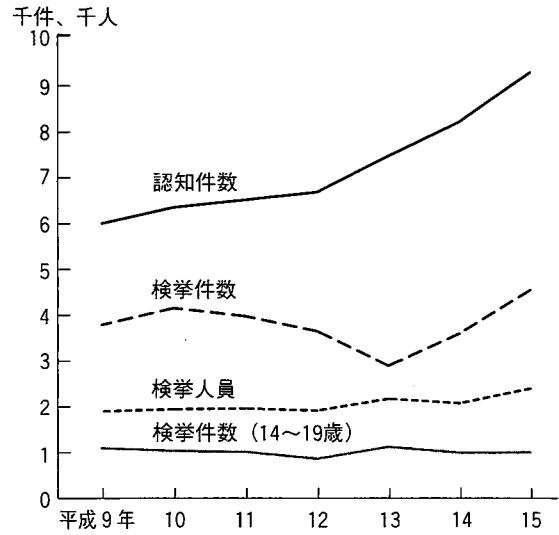
出火原因別では、「たき火」が33件が一番多く、以下「こんろ」(27件)、「放火」(25件)、たばこ(22件)、ストーブ(13件)となっています。

| 指標名               | 鳥取県   | 順位 | 全国   | 年次 |
|-------------------|-------|----|------|----|
| 刑法犯認知件数(人口千人当たり)  | 15.1件 | 33 | 22.1 | 15 |
| 重要犯罪検挙率           | 61.1% | 17 | 51.6 | 15 |
| 重要窃盗犯検挙率          | 46.1% | 15 | 30.0 | 15 |
| 火災出火件数(人口10万人当たり) | 51.6件 | 28 | 50.3 | 14 |

(注) 重要犯罪(殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐、強制わいせつ) 重要窃盗犯(侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり)とは治安情勢を観察する場合に、統計上その指標となる犯罪として掲げるものを言う。

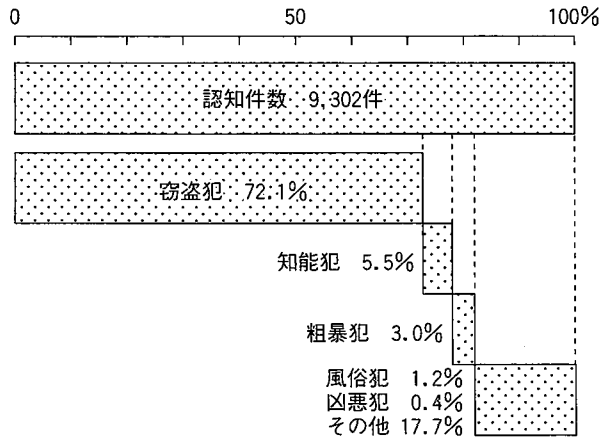
## 刑法犯認知・検挙件数及び検挙人員

県警察本部



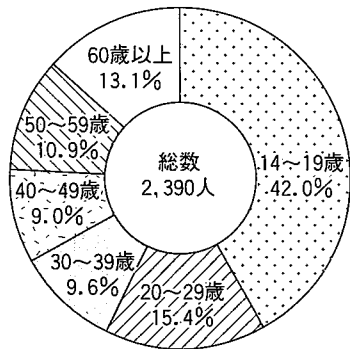
## 犯罪認知件数の罪種別割合(平成15年)

県警察本部



## 年齢区分別刑法犯検挙人員の割合(平成15年)

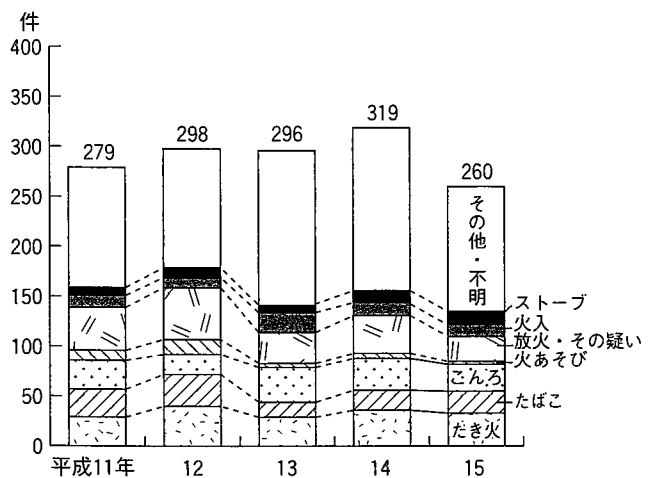
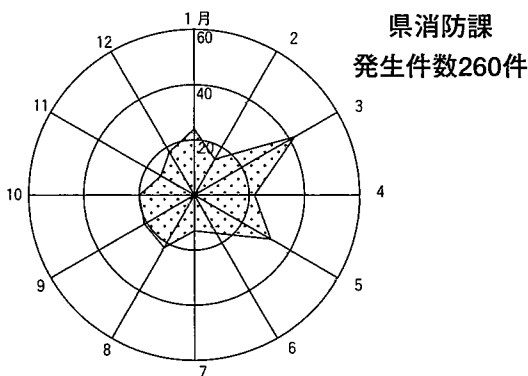
県警察本部



## 原因別火災発生件数の推移

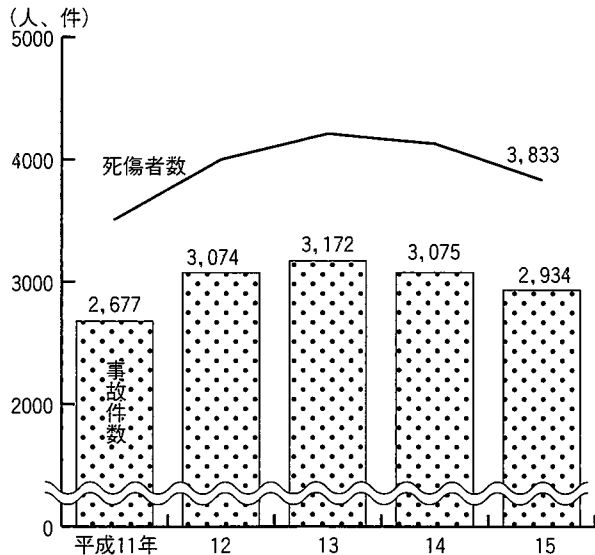
県消防課

## 月別火災発生件数(平成15年)



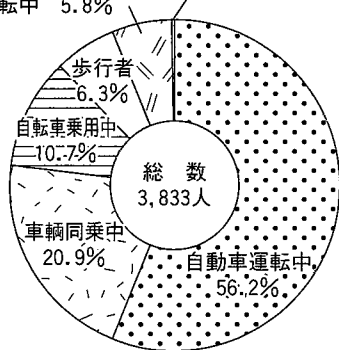
## 交通事故発生件数及び死傷者数 (事故件数は人身事故のみ)

県警察本部



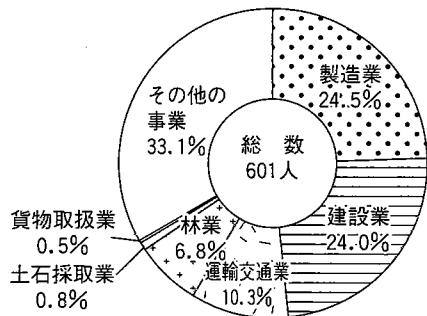
## 交通事故状態別死傷者の割合 (平成15年)

二輪車運転中 5.8% 歩行者 6.3% 自転車乗用中 10.7% 車両同乗中 20.9% 自動車運転中 56.2% その他 0.1% 県警察本部



## 産業別労働災害死傷者の割合 (平成15年)

鳥取労働局



## (交通事故)

平成15年中に県下で発生した交通事故は、2,934件、死者61人、傷者3,772人と、前年に比べ141件減少、死者18人増加、傷者279人減少しました。

## (労働災害)

平成15年中の労働災害死傷者数は601人となっています。

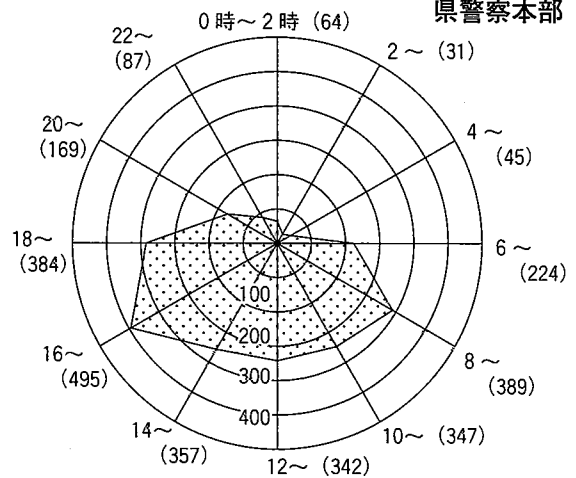
産業別に見ると製造業(24.5%)が最も多く、次いで建設業(24.0%)、運輸交通業(10.3%)の順になっています。

| 指標名                 | 鳥取県    | ベスト順位 | 全国    | 年次 |
|---------------------|--------|-------|-------|----|
| 交通事故発生件数(人口10万人当たり) | 479.4件 | 5     | 743.9 | 15 |
| 死傷者数( )             | 626.3人 | 5     | 933.1 | 15 |

## 時間帯別交通事故発生件数 (平成15年)

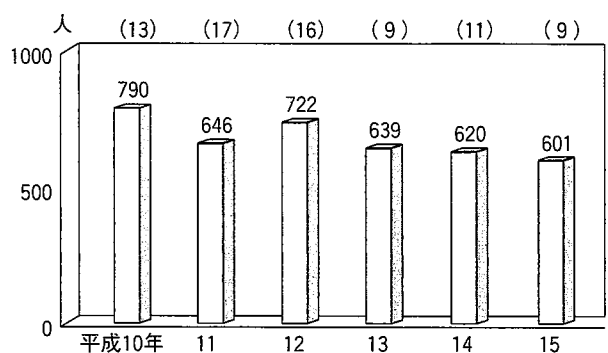
発生件数2,934件

県警察本部



## 労働災害死傷者数

鳥取労働局



- ・休業4日以上の死傷者数の合計
- ・ ( ) は死亡者数で内数